

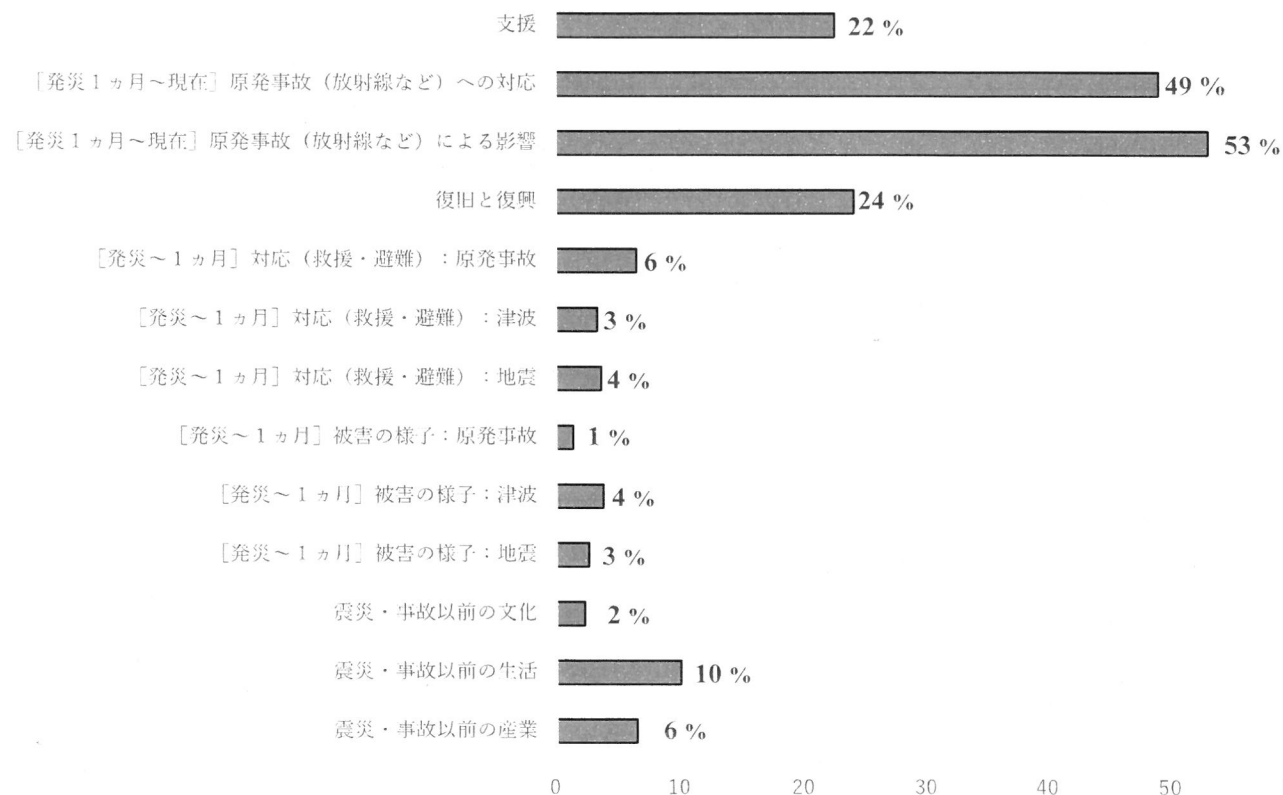
震災関連資料項目ごとの集計結果と傾向

■集計結果

- ・項目「[発災1ヶ月～現在] 原発事故」に関する資料が約5割を占める。
- ・項目「支援」や「復旧・復興」に関する資料が全体の約2割を占める。
- ・項目「[発災～1ヶ月]」「震災・事故以前」の資料が少ない。
- ・「震災・事故以前の文化」や「[発災～1ヶ月] 被害の様子：原発事故」の資料が2%以下と特に少ない。

■収集の傾向と課題

- ・震災直後の資料が少なく、震災後の資料が多い。特に原発事故関連の資料が多い。
- ・震災前、震災直後の資料も今後収集していく必要がある。

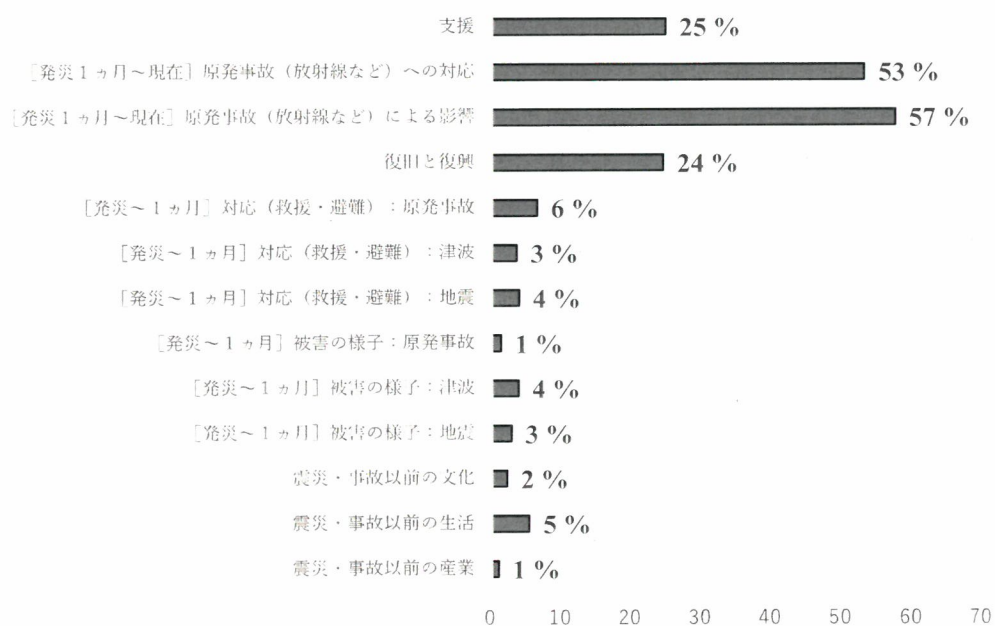


全ての資料と項目分類ごとの割合 (重複を含む、分類できないものは除いた)

一次資料の集計結果と結果の詳細

*一次資料（モノ・紙・写真・映像・音声など）

東日本大震災及び原子力災害を直接示すもの、および被災直後から被災地の復旧・復興の過程において、使用・作成されたもの



2017年4月～2020年1月まで	全ての資料	%	一次資料（モノ・紙・写真・音声・映像）	%
震災・事故以前の産業	14921	6	1916	1
震災・事故以前の文化	23205	10	10900	5
震災・事故以前の生活	5199	2	4342	2
被害の様子：地震	5947	3	5645	3
被害の様子：津波	8687	4	7742	4
被害の様子：原発事故	3028	1	2594	1
対応（救援・避難）：地震	8323	4	7919	4
対応（救援・避難）：津波	7534	3	7210	3
対応（救援・避難）：原発事故	14941	6	13175	6
復旧と復興	55717	24	50547	24
原発事故（放射線など）による影響	122688	53	118872	57
原発事故（放射線など）への対応	113395	49	109776	53
支援	52071	22	51201	25

重複を含む、分類できないものは除いた